

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成27年12月分)

平成28年1月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
  - (1) 国家レベル
  - (2) エンティティ、特別区
- ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH 連邦)
- イ スルプスカ共和国(RS)
2. 外政
  - (1) 国際機関、フォーラム
  - (2) 要人往来、国際会議等
3. 経済
  - (1) 経済指標
  - (2) 経済政策、公的事業
  - (3) 支援、援助

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

● BH閣僚評議会が16年度BH国家予算案を採択(3日)

BH閣僚評議会は、総額17億7,200万KM(約9億600万ユーロ)におよぶ16年度国家予算案を採択し、BH大統領評議会による審議のために送付した。

● ボシュニャクの代表者ら37名が、暴力的過激主義を非難する共同声明に署名(4日)

政治、学術的及び文化的機関や政党、宗教コミュニティからのボシュニャク代表者37名は、全ての形態のテロ行為を非難し、如何なる暴力的過激主義にも反対することを示す共同声明に署名を行った。

● ノビ・グラードでの国家捜査保護庁(SIPA)による戦争犯罪容疑者逮捕に対して、RS政府がSIPA等国家機関との協力取り止めを宣言(10日)

10日、BH検察庁の命令に基づき、SIPAはノビ・グラード市庁舎、同警察署等に立ち入って書類を押収し、容疑者5名を戦争犯罪関与の疑いで逮捕した。

これに対して、同日中に、RS政府は、SIPA、BH検察庁及びBH裁判所との協力を停止することを決定し、RS機関への如何なる捜査も、RS内務省が妨げることを決定した。同日、RS国民議会も、RS政府による同決定を支持する決議を採択した。

こうした事態に対して、上級代表事務所(OHR)は、国家レベル法執行及び司法機関はBH全土において捜査を行う権限を保持している

旨を声明文として発出、和平履行評議会(PIC)運営委員会のうち、EU、米、英、独、蘭、西、日、土、仏、加及び伊がこれに参加した。

●BH議会両院がBH閣僚評議会の「民主主義戦線(DF)」所属閣僚2名の解任を承認(10日)

BH上院及びBH下院は、共に賛成多数により、BH閣僚評議会からDF所属閣僚2名(マタノビッチBH通信運輸相及びスリヤギッチBH国防副大臣)を解任することを承認した。

●SIPAによるRS内捜査に関して、主要関係者が会合(13日)

メクティッチBH治安相、スタニッチSIPA長官、ルカッチRS内相及びバシッチRS警察署長がバニャ・ルカで会合を行い、今後の会合をふまえて、BH警察機関とRS警察機関の協力体制について新たな合意を締結することとなった。

18日、バシッチRS警察署長はSIPAとの協力合意案に署名を付し、SIPAの署名を得るために送付した。

●BH大統領評議会が16年度BH予算案を採択(17日)

BH大統領評議会は、BH財務省から提出された16年度予算案に対して、予算の付け替え等の修正を加え、採択した。

●BH連邦警察がテロ関連容疑者11名を逮捕(22日)

連邦特別警察は、BH裁判所及びBH検察庁の命令を受け、サラエボで複数の強行捜査を行い、テロ関連容疑の疑いで11名を逮捕した。BH検察庁は、逮捕された人物らがISILに

関与しており、大晦日にテロ行為を計画していた疑いがあると述べた。

25日、BH裁判所はBH検察庁の要求を受け、うち8名の容疑者について1ヶ月の拘留延長を決定した。

●BH内警察機関が相互支援協定に署名(29日)

SIPA、RS警察、BH連邦警察及びブルチュコ特別区警察の代表者らは、SIPA庁舎に集まり、「BH内警察機関の間の相互支援及び作戦協力に関する協定」に署名を行った。同協定は、支援の提供、全ての形態の犯罪撲滅、共同警察訓練、情報交換及び経験の共有をより効果的に行うことを目的としている。

●BH議会が16年度BH国家予算を採択(30日)

BH議会で両院において、第一及び第二読会を了し、予算案からの修正なしに、16年度BH国家予算が採択された。採択された予算の規模は17億2千万KM(約8億7,940万ユーロ)。

## (2)エンティティ、特別区

### ア ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH連邦上院が16年度BH連邦予算案を採択し、BH連邦予算成立(29日)

採択されたBH連邦予算は総額25億9,800万KM(約13億2,800万ユーロ)。

BH連邦下院は、22日に同予算案を採択した。

### イ スルプスカ共和国(RS)

●RS国民議会が15年度予算の再編を採択(5日)

再編された15年度予算は、当初予算から2.5%増の20億8,000万KM(約10億6,350万ユーロ)となった。

●RS憲法裁判所が、RS国民議会による住民投票委員会の任命に「民族の死活的利益(VNI)」の侵害はなかったと判断(10日)

RS憲法裁判所VNIパネルは、RS国民議会による住民投票委員会の任命プロセスに関するRS民族評議会ボシュニャク議員団のVNI侵害の申立てに対して、同委員会は法的又は行政的権限を持つ公的機関ではなく、主要民族の適切な代表を保持する憲法的義務は生じないとして、ボシュニャク市民のVNIの侵害はなかったと判断した。

●RS国民議会が16年度経済政策及び16年度予算を採択(24日)

12日、RS政府が16年度経済政策及び16年度予算を採択。16年度経済政策では、RS政府は2.4%の経済成長を予測。16年度RS予算は、総額31億KM(約15億8,500万ユーロ)規模となった。両案は、共にRS国民議会による審議のために送付され、24日の同議会会合において採択された。

今年度予算は、年金障害者保険基金(PIO RS)が予算に組み込まれたことで、例年よりも10億KM以上の増額となった。

●RS国民議会が新RS労働法を採択(29日)

RS国民議会の建物外で労働組合による抵抗活動が行われる中、RS国民議会は賛成多数により新RS労働法を採択。RS内野党らが同法案に反対し、投票前に退席した。

## 2. 外政

### (1)国際機関、フォーラム

●ツルナダクBH外相がアフガニスタンにおける「確固たる支援作戦」参加国による北大西洋理事会(NAC)外相級会合に参加(1日)

会合では、アフガニスタン情勢やアフガニスタン軍への支援、将来的なNATO・アフガニスタン間協力について協議された。ツルナダクBH外相は、アフガニスタン政権に対する支援の継続を歓迎し、BHによるアフガニスタンにおけるNATOミッションへの貢献を紹介した。

●ツルナダクBH外相のOSCE閣僚級会合(於ベオグラード)への参加(3-4日)

会合において、ツルナダクBH外相は、セルビアのOSCE議長国としての活動を称え、ISILによる暴力的過激主義の問題を強調し、BHがテロ撲滅に向けて取組み、対ISIL有志連合への支援を継続すると述べた。

3日、ツルナダクBH外相は会合の傍らでラヴロフ・ロシア外相と会談。政治、治安及び経済問題について協議した。ラヴロフ外相は、BHがウクライナ危機に関して対ロシア制裁に賛同せず、ウクライナへの兵器輸出を控えていることに謝意を表明した。また、ラヴロフ外相は両国間の投資促進保護協定の締結や、天然ガスの供給、BHからロシアへの農産品輸出について言及した。同日、ツルナダクBH外相はマケイ・ベラルーシ外相及びリディントン英外務閣外大臣ともそれぞれ会談を行った。

●第一回安定化・連合理事会(於ブリュッセル)の開催(11日)

同理事会は、モゲリーニEU外務・安全保障

政策担当上級代表が議長をつとめ、ハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員も同席する中で行われた。BH側からは、ズビズディッチBH閣僚評議会議長らが出席した。

同理事会は、安定化・連合協定(SAA)の発効を歓迎し、15年中のBHによるEU加盟に向けた進展を賞賛した。同理事会は、改革アジェンダの履行に関して本質的な前進が、BHによるEU加盟申請の検討に必要なとの考えを示した。また、社会経済状況の改善に集中し、エンティティによる住民投票等によってその注意が逸れないよう促した。

## (2)要人往来、国際会議等

### ●ツルナダクBH外相のハンガリー訪問、シーヤールトー・ハンガリー外務貿易大臣との会談(7日)

会談では両国間の、特に経済協力及び貿易拡大中心とした関係強化について協議した。また、両名はBHのEU加盟プロセスや、ベルリン・プロセスを通じた域内協力強化や、ビシエグラード・グループと西バルカン諸国間の協力深化についても協議した。また、ツルナダクBH外相の招待に応じ、シーヤールトー・ハンガリー外務貿易大臣が16年中にBHを訪問すると伝えた。

### ●チョービッチBH大統領評議会議長及びイゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバーのブリュッセル訪問、モゲリーニEU外務・安全保障政策担当上級代表及びハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員との会談(9日)

チョービッチBH大統領評議会議長及びイゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバーは、会談においてBHのEU加盟プロセスへの進展状況を説明。全ての当事者が目標達成のため

めに取り組んでいると伝えた。モゲリーニEU外務・安全保障政策担当上級代表及びハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員は、BHの目に見える進展を歓迎した。

### ●チョービッチBH大統領評議会議長及びイゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバーが「BHの欧州への未来ーデイトン和平合意20周年」(於ブリュッセル)に参加(9日)

会議には、両名のほか、モゲリーニEU外務・安全保障政策担当上級代表、ハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員、ドール欧州人民党(EPP)党首、イー米国務次官補代理、インツコ上級代表らが出席した。

### ●ルクシッチ・モンテネグロ副首相兼外務・欧州統合大臣のBH訪問、ツルナダクBH外相と会談(9日)

両名ともに、BHとモンテネグロの両国間関係が良好であり、懸案事項もないことを認めた。ツルナダクBH外相は、モンテネグロがNATO加盟の招待を得られたことを歓迎すると伝えた。

### ●チョービッチBH大統領評議会議長及びイゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバーのトルコ訪問、エルドアン・トルコ大統領及びダーヴトオール・トルコ首相との会談(10-11日)

エルドアン・トルコ大統領は、BH大統領評議会の訪問を喜び、両国間の協力関係強化の上で今回の訪問が重要であると述べた。エルドアン大統領は、トルコがBHの経済発展に注目しており、開発プロジェクトを通じた援助を継続すると伝えた。会合では、両国間関係のほかに、中東問題について協議を行った。

ダーヴトオール・トルコ首相との会談では、BHにおける、中小企業を中心としたトルコ投資

の拡大に向けたコミットメントが表明された。

チョービッチBH大統領評議会議長及びイゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバーは、このほか、アタテュルク廟、アンカラ大学及びトルコ大国民議会を訪問した。

#### ●チョービッチBH大統領評議会議長のサウジ・アラビア訪問、サルマン国王及びムハンマド・ビン・サルマン副皇太子との会談(16日)

両名は、両国間の関係は極めて良好かつ友好的である一方、多くの分野において更なる協力の余地があることを確認した。チョービッチBH大統領評議会議長は、サウジ・アラビアとの良好な関係を維持すると述べ、サルマン国王をBHに招待し、サルマン国王はこれを受け入れた。

サルマン副皇太子との会談では、テロ情勢について協議が行われた。

#### ●ツルナダクBH外相のセルビア訪問、ダッチ・セルビア外相と会談(30日)

両外相は、二国間関係、域内協力及び将来的な両国の課題について協議した。ツルナダクBH外相は、セルビアのEU加盟交渉開始を歓迎し、交渉プロセスが円滑かつ効果的に進むことへの期待を表明した。また、ハイレベルの要人往来や二国間条約の署名に示されるように、二国間関係が良好であることが確認された。

### 3. 経済

#### (1) 経済指標

##### ●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、15年10月のBH全体の雇用者数は717,297人、失業者数

は536,902人で失業率は42.8%となった。

##### ●平均給与

BH統計局の発表によると、15年10月のBHにおける平均給与は826KMだった。

##### ●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、15年11月は、15年10月と比較して、消費者物価指数は0.2%下落。年間比較では、1.8%下落した。

##### ●貿易額

BH統計局の発表によると、15年1月から11月までのBHの輸出額は82億3,000万KM(約42億800万ユーロ、14年同時期と比較して3.5%増)、輸入額は145億1,600万KM(約74億2,200万ユーロ、14年同時期と比較して1.9%減)。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、15年1月から11月):①ドイツ(13億1,000万KM/約6億6,980万ユーロ)、②イタリア(11億1,300万KM/約5億6,900万ユーロ)、③クロアチア(8億4,800万KM/約4億3,360万ユーロ)、④セルビア(7億500万KM/約3億6,050万ユーロ)、⑤オーストリア(6億9,700万KM/約3億5,640万ユーロ) 参考:日本(125万4,000KM/約64万ユーロ)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、15年1月から11月):①ドイツ(17億6,200万KM/約9億100万ユーロ)、②イタリア(16億700万KM/約8億2,200万ユーロ)、③セルビア(15億7,400万KM/約8億500万ユーロ)、④クロアチア(15億400万KM/約7億6,900万ユーロ)、⑤中国(9億9,500万KM/約5億900万ユーロ) 参考:日本(9,749万

KM/約4,980万ユーロ)

\* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

#### ●観光客数

BH統計局の発表によると、15年10月、BHには97,021人(うち日本からは1,282人)の観光客が訪れ、14年10月と比較して13%上昇した。

## (2)経済政策、公的事業

#### ●ブチッチ・セルビア首相がRS電力会社の株式購入への関心を表明(1日)

ブチッチ・セルビア首相は、もしもRSが関心を示すのであれば、セルビアがRS電力会社「Elektroprivreda RS」社の株式購入に関心があると発言した。同首相は、セルビアが、モンテネグロ電力供給ネットワークの11%を既に購入したことに言及し、域内での投資を拡大する意向があると述べた。

#### ●RS政府と中国企業が水力発電所の建設に関して覚書を締結(7日)

RS産業・エネルギー・開発省は、中国「China International Water and Electric Corporation (CWE)」社と、Dabar水力発電所の建設に関する覚書を締結した。同覚書は、CWE社が他社と共に同水力発電所の建設にかかる協力と、今後の建設及び資材購入に関する入札への参加を記したものである。Dabar水力発電所の建設は1億8,000万ユーロ相当で、250MWを提供する予定のGornji Horisonti水力発電コンプレックスの一部となる。

#### ●BH連邦政府が7,000万KM(約3,580万ユーロ)分の公債を発行(8日)

公債は5年で、平均利率は2.705%。同公債発行は、IMFによる融資を受けることが出来なかったことによる予算の補填を目的としている。

#### ●BH電力会社が電力供給能力向上のための投資計画に言及(9日)

BH電力供給会社「Elektroprivreda BiH」社は、16-18年経営計画に関して述べる中で、同社が2023年までに1,314MW分の電力供給能力を向上させるため、48億KM(約24億5,400万ユーロ)を発電設備建設に投資することを計画していると伝えた。

このうち、1,050MW分は、トウズラ火力発電所ユニット7及びカカニ火力発電所ユニット8等を含む火力発電所の建設によって補われる。

#### ●RS政府とイタリア企業が太陽光発電所の建設について覚書を締結(11日)

RS産業・エネルギー・開発省は、イタリア「Building Energy」社と、太陽光発電所建設に関して覚書を締結した。

#### ●オーストラリア企業がBHにおける石油及びガス探索事業に関心(17日)

ジンディッチBH連邦エネルギー・鉱業・産業大臣は、オーストラリア「Key Petroleum Ltd.」社が、「Shell Exploration Co.」社の撤退後、BHにおける石油及びガス探索事業に関心を有しており、16年1月に同社の代表らが協議のためBHを訪問すると述べた。

### (3)支援、援助

#### ●BH閣僚評議会が、欧州復興開発銀行(EBRD)からの融資を承認(11日)

EBRDによる8,000万ユーロ分の支援は、高速道路「Vc回廊」の建設事業に供することを目的とする。同事業は、ドニャ・グラチャニツァから北ゼニツァまでの高速道路建設等を対象としている。

#### ●世銀が16-20年の国別パートナーシップ枠組み(CPF)を承認(15日)

CPFは、BHの迅速な復興を目的に提供される。CPFにおいては、①公共セクターの効率性向上、②民間セクターの成長促進のための環境構築、③自然災害への抵抗力構築の3分野に対して支援が行われる。CPFによる融資は、改革の進行状況に応じて、4年間で7億5,000万米ドルが充てられる予定。

#### ●EUが戦争犯罪の訴追支援に290万ユーロを拠出(22日)

EUによる支援は、BHにおいて戦争犯罪の審理を担当する、検察官、判事、捜査官等の人員142名の給与として提供された。同支援は、国家レベルの司法分野改革枠組み戦略が採択されたことで実行された。

(了)